

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域性を重んじ、入居判定の際に地元の方を優先に考えている。	○	老人クラブやいきいきサロン等地域の高齢者との交流をはかっている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に入居者の安心安定した生活を念頭に介護にあたっている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関やフロアの目につくところに理念の掲示をしたり、運営推進会議で取り上げている。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	朝・夕の挨拶は勿論のこと、何か行事やボランティアの来所はお知らせし参加してもらえるよう努めている。また推進会議のメンバーにもなって頂いている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のゴミ拾い、せぎ掃除等への参加を入居者と一緒に行っている。保育園の運動会や育成会行事への参加をしている。	○	老人会との交流を持ちたい。

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>入居申し込みの方に関しては、いつでも相談に応じる体制をとっている。又、気軽に来所して頂きたい旨をお話している。</p>	○	<p>独居老人をご招待し交流を持ちたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>できていないことに対しては改善に結びつくよう努力している。</p> <p>新聞(ホームだより)の発行をした。</p>	○	<p>今月中に秋号を発行する予定になっている。</p>
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議の中で出された意見に対しては、改善できる点は改善している。例えば生垣の手入れ・緑の確保 利用者のサービスの実際、評価については触れていない。</p>	○	<p>地域の中でホームが役立てるようなことをして行きたい。認知症の介護相談等。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>常に連絡を取り地域への回覧の依頼もお願いしている。</p> <p>介護相談員の受け入れをしている。</p>		
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は研修会に参加したり、関係者にお知らせしている。</p>	○	<p>他の職員も研修等に参加したり、ホームの中でも勉強会を設けたい。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を開いている。</p> <p>マニュアル化している。</p> <p>施設部会では年間のテーマとして事例検討をしている。</p>	○	<p>研修会への参加。</p>

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時は勿論、退居の際は事前に何度も話し合いを設け不安の軽減をはかっている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員2名を月1回受け入れている。相談員さんからの意見を反映させるよう努めている。</p>	<p>○ 苦情処理の一本化をはかり、しっかりとしたシステムをつくる。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康面に関してはその都度連絡をしている。金銭管理については面会時定期的に署名を頂いている。</p>	<p>○ 職員の移動等については新聞に載せる等して報告する。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付の窓口職員は文書にて明確になっている。又、契約の際には重要事項説明書に添ってきちんと説明している。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の職員会議の際に機会を設けている。</p>	

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の変化、要望には柔軟に対応している。2ユニット間の協力で人員確保されている。	○	会社へ人員確保の依頼をしている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	グループホーム職員の異動は、本人の希望による場合を除き、極力抑え、離職による補充も可能な限り地元の方を採用している。	○	ホーム開設当初に比べ、職員の定着率は安定しつつあるが、職場環境を一層整え、全員が気持ちよく働いてもらえるホームにしていきたい。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・外部研修参加計画の立案と実施 ・管理者及びリーダー、研修経験者による○JTの推進	○	グループ事業所内での相互研修 社内の他のグループホームへの研修
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月、千曲市内の事業者が集まる施設部会に管理者が参加し、地域同業者との情報交換を図っている。	○	千曲市に、3カ所(当ホームも含む)ある、グループホーム同志のネットワーク形成にも働きかけていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理部が定期的にホームへ足を運び、面談の機会を設けている。 電話での相談にも応じている。	○	面談は管理者や新入社員等が主体になってしまう為、訪問頻度を増やし、パート職員も含め、全体をカバーしたい。

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	昇給、賞与等条件面について、能力、姿勢(仕事への取り組み)等を考慮している。尚、評価し管理者、管理部、役員と複数評価している。	○	職員のキャリアプランを明確にしていながら、将来への目標設定をしていきたい。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込みの時点で利用者に来所して頂き体験として2～3時間位の利用をして頂く。本人の話は傾聴するよう努めている。	○	家庭訪問 その人がどんな所で暮らしてきたか等も含め、普段の暮らしの中からの声を聞き取って行きたい。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	時間をゆっくり設けしっかり向きあって話を聞いている。	○	家庭訪問の中で家での様子などを聞き取ってサービスにつなげる。
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の時点ではまず、入居は不可能である為ホームで出来る相談を中心にいつでも受け入れの出来ることをお伝えし、居宅のケアマネさんへ情報提供している。	○	居宅のケアマネとの連絡調整をもう少し密にとる。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と一緒に泊まってもらい徐々に慣れてもらう等の事も適宜行っている。	○	入居の前に泊まりが体験できるようにしたい。

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑、食事作り、掃除等の日常生活をとうし先輩から学ぶ姿勢を持つようにしている。利用者さんが自然に職員の協力をするスタイルができています。	○	製作(押し花・貼り絵等)活動をもう少し取り入れ。そのなかで完成する喜びや達成感と一緒に味わいたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホーム便りを見て頂いたり、面会の際には近況など詳しくお伝えし、視点を同じにする努力をしています。	○	ホームの意向を常にお伝えできるよう、個別にお便りをお出ししたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホームに来て、ご一緒に料理をして食べたり、散歩に行ったりと、自由にして頂いている。又、敬老祝賀会等一緒に過ごせる時間を設けている。ご家族には、一緒に過ごす時間の大切さをお話ししている。	○	ご家族と一緒に外出する機会を設けたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地元の入居者さんは、ボランティアで近所の方が見えたりするので、居ながらにして関係の継続ができています。散歩・買い物等に出かけても、顔馴染みの方に声をかけて頂いたりして居る。	○	千曲市以外の方に関しても、個別になじみの場所にお連れしたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	居室から出てくると、皆が集える場所がある。又一人所在無げにして居ても、声掛け、誘導し皆と集える場所を作るようにしている。		

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	何時でもご連絡をしていただけるような関係づくりに努めている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者さんの思いに寄り添う努力をしている。ご家族にもお聞きし、本人本位に近づけるよう努力している。	
34	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	居宅のケアマネやご家族から情報を頂いている。	○ 家庭訪問をし、その方の生活史をもう少し掘り下げて考えたい。
35	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	出来ること出来ない事シートを活用し、残存機能を引き出せるよう努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	ケアカンファレンスの中で、プランの見直しをしている。又、ご家族の面会時などに意向をしっかりと聴きするようにしている。	○ サービス担当者会議に、ご家族の参加をお願いする。

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	心身の状態に応じ、プランの見直しを行っている。	○	PT・OT等の専門職の意見も取り入れたら良いと思う。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録の中では、その人らしさを重点に置き、その方の行動やつぶやきをとらえるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームなので、あまり多機能性を活かした支援ではないが、日課等にとらわれず柔軟な支援はできている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議のメンバーにもなって頂いており、協力体制はとれている。又、地元のボランティアの方も紹介して頂いたりしている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームなので、公的なサービスは使用できないが、他の宅老所や施設と交流をもつ予定で連絡・調整している。	○	同じグループでもある“森の里”の特養の行事に参加させて頂く。又、3ヶ所の宅老所との交流を行いたい。

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと直接的な関わりは持っていない。	○	運営推進会議のメンバーに入ってもらいたいと考えている。
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一部の方を除いて定期的(1回/M)に受診介助をしている。又、受診が困難な方に関しては往診を依頼している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医にも協力を依頼しており、定期的に診察して頂いている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤で看護職員がおり、報告ができています。又、定期的に健康チェックを実施している。掛かりつけ医からは看護師の訪問も実施して頂くこともある。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に際しては、病院側と連絡を取り合い情報交換をしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族会の中でも取り上げたり、個別に話をしてご理解を頂く。職員も個々に応じて生活支援の場が異なることについて、職員会議で常に話し合う。		

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	<p>子供扱いしてしまうような言葉掛けには注意を払う。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>介護する側の都合に合わせて頂く場面もあるため直していきたい。</p>

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	職員側の都合に合わせてしまうこともあるので注意したい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		暮らしの継続という意味でも、顔馴染みのお店にお連れしている。
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		畑で採れたものを使ったり、買い物～片付けまでの過程の中で共に関わりながら楽しめるよう支援している。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		飲酒などの嗜好品については、制限はしておらず、希望があれば提供している。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		ケアプランの中でしっかり位置付けを行い、オムツ外しを心掛けている。排泄パターンを把握できるよう、センター方式の24時間シートを活用。

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	特に曜日や時間帯は決めず入浴されている。	○	夜間入浴 19時～20時までの間で可能な時は実施してみたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室のみならず、ソファや畳コーナーを利用しつろげるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームの中で、ある程度役割ができており、張り合いを感じて頂いているようだ。職員も「ありがとうございます。助かります。」の声掛けは日常的にできており、利用者の意識の向上に繋がっていると思われる。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の財布を持っている方もおり、買い物の際には、自ら精算をしていただくこともある。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の気候にもよるが、散歩は欠かさないう心掛けています。時間帯も午前・午後と二度行く日もある。又、買い物等に出かけている。	○	一人ひとりの希望に添って、外出先を決めて行きたい。買い物も御本人の希望に合わせてお連れしたい。

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の方がお連れして頂くケースはある。外食や季節ごとのお花見等にはお連れしている。	○	ボランティアの力を借り、外出の機会を増やしたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば、電話をかけられるよう支援している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入居の際には、関係が切れてしまわぬよう訪問をお願いしている。気軽に来て頂けるよう、面会場所の配慮はしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロを目指して、努力している。毎週1回ヒヤリハット検討会を開き個別対応の検討もしている。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	契約書にもうたっている「行動の制限をしない」ことを理解し、施錠した場合の報告書を取り、他に方法はないか、検討をするようにしている。		

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	離説の危険性の高い利用者に対しては、時間帯で担当を決め、所在確認をしている。又、転倒の危険性の高い方に関しては、常に見守りのできる体制をとっている。適宜畳コーナーに誘導したりしている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	異食等の危険性に関しては、職員の見守りを重視している。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりのプランの中に盛り込んでいる。又、年2回の防災訓練や日頃の危険管理については、話し合いの機会を設け、マニュアル作成している。	○	防災については、突発的(想定外)な訓練もやっていきたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変・事故に対して、ある程度の予測を個別に行っている。又、対応方法等マニュアル化している。	○	全ての職員が具体的な処置等できるような訓練も行いたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議等でも有事のときの支援をお願いしている。又、防災訓練も参加して頂いている。	○	災害時の各施設間での協力体制やネットワーク造りも行政に働きかけ、施設部会でも取り上げ話し合っている。
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアプランの中に盛り込み、同意を頂いている。		

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日勤→夜勤→日勤と申し送りを行うことで情報を共有し、連絡ノートの活用も同時に行う。発見時には、自己判断をせず、看護師の指示を仰ぐシステムになっている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についての説明書をファイリングしたり、投薬ミスの無いよう心掛けている。又、チェックリストを活用し、臨時薬についても、漏れの無いようにしている。	○	全ての職員が見て分かるような個別のカルテを作って行きたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表に基づき、排便確認を行い、水分摂取や繊維質の多い食品の提供、又、腹部マッサージや散歩等、自然排便を促している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行っている。義歯の方でも舌や歯径を刺激するよう、ブラッシングを行っている。又、個別に仕上げ磨きをする。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は毎食毎チェック表に記入し、時には栄養補助食品を使用している。水分に関しても、10° 15°のお茶以外にも、温度や湿度等、環境に応じ適宜補給するよう努めている。		

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、年に数回、学習会を設けている。	○	今あるマニュアルに、具体的な対応方法等、詳しく書き加えて行きたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具やキッチン周りの消毒は、使用の度に行い衛生管理に努めている。買い置きはせず毎日食材の買出しに行っている。又、旬の物を取り入れるよう心掛けている。	○	会社で配色サービスを開始しており、真空パックでチルド状態の物を配色してもらう予定になっている。(朝食のみ)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	違和感や威圧感の無いよう草花を植えたり、表札を掛けたりしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物や切花を飾ったり、畳コーナーにはコタツを置いたりして、家庭的な雰囲気を出すようにした。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファーや椅子を置いたり、畳コーナーにコタツを置き気の合う仲間同士自由にくつろげる様にしている。		

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所に○をつけること)	
項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームまゆ更科(さくらユニット)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所には○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・近所のスーパーや散髪、公園に出かける。(地域密着を目的として)
- ・畑や中庭の花壇の手入れ。
- ・季節柄のイベント(お彼岸、どんしゃん祭り、花火大会、もちつき、御節作りなど)
- ・イベント等での出し物(地域の方に声をかけ、地域の方がボランティアでフラダンス、三味線等を行って下さる)